



# 幼児教育の根本原理 (三)

静 枝 譯

東テキサス州師範大學の練習學校長ピツケット、同大學幼稚園長デュラルテイ、ホーレン著幼児教育の第一章を譯したのである。吾々幼稚園關係者小學校初學年教師の參考となること甚だ多いと思はれるが特に本誌に掲載する。

すべての子供は話す事を好み、何か話の材料を持つてゐて適當な刺激の下にそれを話す。子供は抜けた齒や新しい靴だのに就いても話したがらる。併し多くの學校に於て、子供は此の爲に如何なる好機會を持つてゐるであらうか。子供自身の貢獻といふ事を考へ入れず、子供にとつて興味のない、子供の經驗とはかけ離れた事柄について言葉や讀方を教へてゐる教師が多くないか。然かも直ぐ手近には、始終豊富なる材料が、それを明かにすべく一寸した質問を待つてゐるのである。是等を取入れることによつて活動的な小さい子供達は無味乾燥なる教課を生氣の充ちた者に代へる事が出来るのである。

入學前の年頃の子供はよく自分の見た物を作る。丸太に釘を打つたり、眞直にそれを抜いて見たり、小さい斧で家具を壊したりする。併し子供はある隠れたる方によつて、之れを餘儀なくさせられるので

ある。此の物を要する欲望は學校生活について來る。それで實地經驗ある教師は此の子供の構成本能に叶ふ如き材料を供給する。斯くして家庭生活と學校生活とは整理をすべき何等の混亂なしに、子供が新教育に慣れて行く様によく調和させられる。

有らゆる子供は長上の着物を著る事を喜ぶ。子供は其れを着た時に、大人の特權のあるものが、自分に著いて來る様に感ずるのである。お母さんやお父さん遊びは慥に子供の氣に入りの遊びである。又此の子供達は種々の自然の材料で自分の身體を裝飾する。學校は此の子供の裝飾愛を考に入れて、若し子供達が、何か餘所行きごっこでも仕様としたならば子供に簡單な物でよいから、何か子供が着物を造りたいと思つてゐる材料を與へるがよい。子供は太鼓を打つて行進する時には兵隊さんの帽子を冠つて旗を持つ事を欲する。此の欲望を満足させる方法を講ずる事は容易な事である。

好奇心は子供が學校に持ち來る最も大なる要素の一である。子供は自分で想像する物や解らない事はすべて穿鑿しやうとする。或る朝幼稚園で一人の女の子が皆に何か與へる間皆眼を閉じてゐる様に、子供達に手で目を抑へさせてゐた。所が、一人の小さい男の子はもう我慢し切れ無くなつて「もう待つてられない、待つてられない」と叫び出した。又ある子供は日曜學校で天井の扇風機を見て「どうして廻るの？」と尋ねた。電氣によるのだと告げられたら直ぐに問うた「それは何處にあるの？」

好奇心は研究に對する強き誘因となるものでこれを刺激する所の好機會は幾らもある。校庭や運動場

を散歩する時にも、鳥の巢や、蟻や蜂の働を見る爲に森の中で過ぐす半時間中にも得られるのである。

學齡前に於て遊びの世界は子供の世界である。我々の文明に位置を占める爲にせねばならぬ經驗を、すべて教へられる事は兒童にとつて可能の事である。十六年から二十年で原始生活と今日の文明生活との間に橋渡しをして今日の文明状態に達せねばならぬ。これを爲すには自然の命ずる道、即遊戯をせねばならぬ。遊戯は自然を映す鏡である。遊戯によつて兒童は人間生活の有らゆる須要な關係を覺える。然らば遊戯とは何であるか。心を籠めて爲す事である。若し大人が、心を籠めて仕事をするならば彼は仕事に對して遊戯的態度である。彼はそれを仕遂げた結果の誇の爲にそれをする。同様に、周圍の大人の生活を模倣して遊んで居る子供は、假ひ大人の眼にはたゞ遊んでる様に見え様とも、眞實は働いて居るのである。遊びの生活が、自然生活である以上は、學校は課業を始める基礎として、先遊びの生活と與へねばならぬ。此の爲に、多數の幼稚園及小學校の初學年に於ては自由時間又は自由なる朝が與へられてゐる。此の時間の子供の動作は、社會的習慣を教へ、後になつては道具を使用する學課を教へる出發點を與へる。子供が遊んで居る時、同情ある觀察者は、兒童教育の如何なる書物にも未だ見えない教について多くの事を發見するであらう。

我々は積木をし泥のパイや御殿を作る事によつて、我々の眼の前で形を作つてゆく製作者を見、又歌を歌ふことに於て生れながらの詩人を見、又人物や植物と遊んで生長して行く養育者を見、又模倣穿鑿

●蒐集分類の遊びを發達させる科學者、又多くのゲームの勝負に従事する戰士を見るであらう。とマクミランはその著書に述べてゐる。

幼稚園活動の原理の討究は此の種の兒童の自發教育に於ては猶歩を進めて教師の位置にも及ばねばならぬ。教師が強制抑壓を爲す事無く自由・獨立・自己表現を主張する所の學校に於て教師は如何なる位置を占めたらよいか。フレーベル氏の幼稚園に於ては教師は中心人物であつて、丁度周圍に小さい幾つもの遊星を還らしたる太陽の如きものであつた。モンテツソリの學校に於ては傍觀者であつた。しかし新しき幼稚園に於ては幼兒を保護世話し、又その幼兒の忠告者指導者、友達として教師を認めてゐる。教師は幼兒かも知れて高き椅子に腰掛けてゐないで子供達と一緒に居る。教師は精神的に幼兒の近くにあると共に又身體的にも近くあらねばならぬ。ミラー氏は教師が教育法に取り入る可き唯一の新らしい要素は導いてやる事であると云つてゐる。先生は子供が知らねばならぬ事を教室で皆教へるより、子供が自分でこれを悟る様に仕向けて行かなくてはならぬ。或る朝二人の女の兒がボールを蹴つて居た。彼等は各百度それを蹴る事に定め、それを黒板に記録した。其の中一人の子供は自分には之が出来るか如何か疑はしくなつて「先生助けて下さい」と先生の方に向いて言つた。他の場合には先生は仲裁者たらねばならぬ。或る幼稚園で子供が、皆綺麗な新しい汽車で遊ぶ事を欲した。其の中でも殊に四人の子供が、自分の要求を通さうと言ひ張つて先生の所へ走つて行つた。先生は順々にそれで遊ぶ様に告げた所

が、子供達は猶聞かなかつたので、先生は遂に「大人しく順番を待つ事が、出来なければそれを取り上げて仕舞ふ」と言つた。此の目前の災難で子供達は喧嘩を止めた。子供は時々遊んでる時に他人の権利と衝突する。人は生れ乍らにして強き個人的傾向を有するものである。斯うした時先生は御仲間を犠牲にして自分の我儘を通さうとしてはならない事を子供に悟らせる様に導く。併し他人の事を構はない様に強ひるだけでは充分でない。他を助ける事に喜びを見出す様に導かれねばならぬ。人は助なくしては眞の獨立は無いといふ事を幼年時代に於て悟らせねばならぬ。

四歳から八歳までの子供の教育は、連続せる過程であるから幼稚園と小學校初學年の教師は、同一の訓練をなす事が望ましい。さうすれば子供は急に小學校へ飛び移つたといふ移動の感を起さずに幼稚園から小學校に行ける。子供は幼稚園でも小學校でも同じ材料で同じ状態で仕事をし又遊ぶ。一年生の教室は丁度今離れた幼稚園の室の如くである。其處には元の友達があり玩具があり人形がある遊び道具がなくして淋しいやうな事は事にもない。幼稚園と同じ長き卓と椅子もある。併し第一學年に於ては子供が道具仕事の要求を感じそして直接の努力がそれを用ひる様に習慣づけさせる爲に幼稚園に於けるよりもつと多くの物がある。幼稚園と小學校初學年との相互關係は此の方面の指導者の努力によつて今日完成せられてゐる。我々は凡ての子供が幼稚園に入り、急に飛び移る事なくして著々と過程を進んで行く時の近からん事を望むものである。眞に小學校教育が著々と漸進的進歩をなし、其のよつて立つ基礎は幼稚

園であることを明確にせねばならぬ。

## 皇后陛下東京女子高等師範學校に行啓あらせらる

大正十四年十一月廿九日、東京女子高等師範學校開校五十年記念式が午前十時より大講堂に於て舉げられた。この日

皇后陛下には同校に行啓あらせられ特に、令旨を賜はつた。

式後 皇后陛下には陳列室を御巡覽遊ばされ、特に幼稚園陳列室に於ては、陛下御在園當時の保育室遊戯室の古き寫眞によつて當時を御慕遊ばされ、幻燈室にては五十年の變遷を語る映畫を御覽遊ばされ、

御機嫌麗はしく正午過ぎ全校職員生徒來賓一同の奉送裡に御還啓遊ばされた。尙ほ五十年記念式その他の模様は次號に於て詳細報告する豫定である。